

# 緑が丘

校訓  
「ゆたかさ・たしかさ・たくましさ」  
学校教育目標  
「認め合い、学び合い、高め合う生徒の育成」

平戸市立田平中学校  
学校だより第22号  
(令和4年11月)  
文責 西澤 庄藏

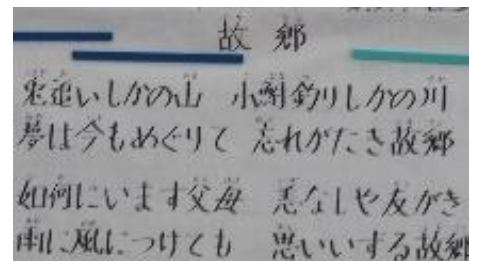


## 人権集会に向けた関係学習として講師を招聘しての手話体験教室を実施しました。

11/15(火)2年生を対象として手話体験学習を実施しました。手話を学ぶことにより、聴覚障害に対する理解を深めるとともに、ボランティアの技能を高めるなど「共生」社会実現のための実践力を身につけることも目的として行いました。

当日は、平戸手話サークル会員の方々を講師にお招きして、講義と体験活動がありました。体験活動では講師の身振り手振りを交えた教えに従い、生徒だけではなく我々教師も一緒に学ぶひとときとなりました。50音や数字の指文字に加えて、あいさつや返事を含めた簡単な自己紹介ができるぐらいの基礎的な事項を習いました。ほかに、スポーツや天気を表す手話を実際に体験しながら学び日常会話の上達を目指しましたが…、曲(「故郷」)に合わせた手話を体感したところで惜しまれつつ終了となりました。

手話の導入部を学んだだけで、確実に聴覚障害への理解は深まったと実感しました。また、講義から、身近なところに人権課題があることを知り、互いの違いを認め合い、支え合う姿勢や態度を養う良い機会となりました。



## 文化・スポーツ両面で校外活動でも顕著な活躍がありました。その一端の紹介です。

11/5(土)町内のたびら活性化施設にて平戸市イングリッシュパフォーマンスコンテストが開催され、本校からも片平さん(2-2)・南さん(2-2)の2名が出場しました。新学習指導要領の趣旨の則り、考えたことや伝えたいことを理由を含めて発表する形式に変更になり、名称も変更されたとのこと。文化祭でも披露しましたが、当日は、さらに完成度を増した発表で、このコンテストに懸ける意気込みを感じたところです。結果、南さんが優秀賞に輝きました。文化祭でのプレ発表、今回の本番、そして、何よりこれまで真摯に努力を重ねたことに、心の底から労いの言葉を贈りたいと思いました。おつかれさまでした。



11/10(木)諫早市のトランスコスモスタジアム長崎ジョギングコースにて長崎県中学校総合体育大会のフィナーレを飾る駅伝競走大会が開催され、市内大会を制した本校男子チームも出場しました。男子9名の選手団を結成して大会に臨みました。競技は、それぞれの市町を制した精鋭揃いで、抜きつ抜かれつの順位がめまぐるしく入れ替わる展開となり、手に汗握る緊迫感のあるものでした。結果は、22位でしたが、持てる力を存分に発揮して大健闘でした。3年生から1・2年生へ「心の襷」を受け継ぎ、次年度のさらなる飛躍も期待したいと思います。選手団の皆さん、おつかれさまでした。

11/12(土)市内の平戸文化センターにて平戸市中学校新人大会卓球競技が開催され、本校の男女卓球部も出場しました。男子6チーム、女子3チームで団体戦が競われ、会場所狭しと何台もの卓球台が置かれた様子は、生徒数減少で部活動の維持・継続が難しいと言われて久しい昨今、卓球競技では未だ健在のようでした。結果、女子団体戦で優勝、男子個人戦で高田さん(2-1)が準優勝という輝かしいものもありました(女子団体戦では1年生ペアが勝利してチームに貢献するなど目を見張るものもありました)。このほか、団体戦・個人戦を通じて内容も、「あと一歩及ばず」といった試合が多く、今後に期待を抱かせるものでした。

